

Auto WesternTM Multi

**ウェスタンにおけるブロッキング・抗体反応を自動化
最大4チャンネルの同時反応が可能！**

【製品特長】

- ・運転状況が見えるため安心
- ・容易な操作性
- ・高い再現性
- ・省力化に有用
- ・最大4種の1次・2次抗体の組合せが可能
- ・1次抗体回収が可能
- ・普段の試薬・容器が利用可能
- ・自動洗浄でメンテナンスが容易
- ・振盪装置としての利用も可能



Auto Western Multi

【製品番号】

製品番号	商品名	内容量
BCA-AWU-01	Auto Western Multi	1台

価格については当社HPで確認するか、当社へお問合せ下さい

【製品仕様】

攪拌方式	反応容器のシーソー型振盪方式
反応溶液の交換	プリセットプログラム選択による自動交換方式
外形寸法、重量	26×20×25cm (チュービング除く)、7.5 Kg
反応条件	4種類の1次抗体と2次抗体組み合わせが同時に反応可能 *1次抗体は回収可能
付属反応容器	2枚用: ミニゲルのフルサイズを2枚収容し、反応可能 4枚用: ミニゲルサイズの2分割を4枚収容し、反応可能
反応可能数	1~4チャンネル (1~4の反応を同時に実施可能)
反応液リザーバー	抗体溶液、ブロッキング溶液、自動洗浄溶液、洗浄液や排液ボトルは別途
電源	ACアダプター (AC 100~240V、50/60Hz)、定格容量 12V、4A
使用環境	室温 (15℃~25℃)、35~85%RH (結露なきこと)
付属品	取扱説明書、保証書、反応容器2個(上記参照)

(注意:仕様は予告なく変更になる場合があります。また、本装置の作動原理は特許出願中です)

【製造・販売元】

株式会社ビークル

〒606-8305

京都市左京区吉田河原町14-1

TEL: 075-762-5055

FAX: 075-762-3055

website: www.beacle.com

E-mail: binformation@beacle.com

【ご注文先】

注文先に販売店名が記載されていない場合は、(株)ビークルに直接ご注文いただくか、普段お使いの販売店にお問い合わせください。

Auto Western™ Multi 使用方法の概略

使用方法

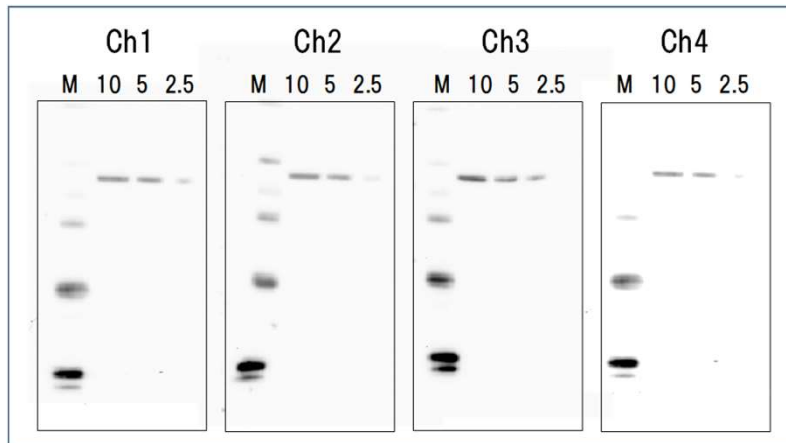
1. 1次、2次抗体溶液、洗浄液を準備し、Auto Westernにセットする。
2. 反応容器にメンブレンとブロッキング溶液を入れ、Auto Westernにセットする。
3. 振盪速度と最適なプログラム(下記参照)、使用するチャンネルを選択し、スタートさせる。
4. ブロッキング、洗浄、1次抗体反応、洗浄、2次抗体反応、洗浄まで自動稼働
5. 自動反応が終了したら、メンブレンを取り出し、検出操作を行う
(1次抗体は自動的に元の容器に戻り、回収可能です)
6. Auto Westernの自動洗浄スイッチをオンにして流路洗浄

Auto Western Multi プレセットされているプログラムとモード

- P1: ブロッキング1時間、洗浄、1次抗体反応1時間、洗浄、2次抗体反応1時間、洗浄
最も一般的なウェスタンの抗体反応を自動化したものです。
- P2: ブロッキング1時間、洗浄、1次抗体反応2時間、洗浄、2次抗体反応1時間、洗浄
1次抗体反応を延長したプログラムです。1次抗体反応を増強したい時に利用します。
- P3: ブロッキング1時間、洗浄、1次抗体反応12時間、洗浄
1次抗体反応を更に延長したプログラムです。オーバーナイトでの1次抗体反応が可能です。
- P4: ブロッキング1時間、洗浄、1次・2次抗体反応1時間、洗浄
ワンステップ反応が可能な時に利用します。また、1次抗体反応、2次抗体反応のみなどの利用も可能です。
- P5: 2次抗体反応1時間、洗浄
2次抗体反応のみのプログラムです。P3との組み合わせで全反応を自動化できます。
- AW: 使用後に流路を自動洗浄するプログラムです。
- SW: 単なる振盪機として利用するモードです。
- 上記のプレセットされたプログラムは組み合わせと工夫によって種々の反応が可能です。
プレセットプログラムは希望があればオプションで変更が可能です。

使用例

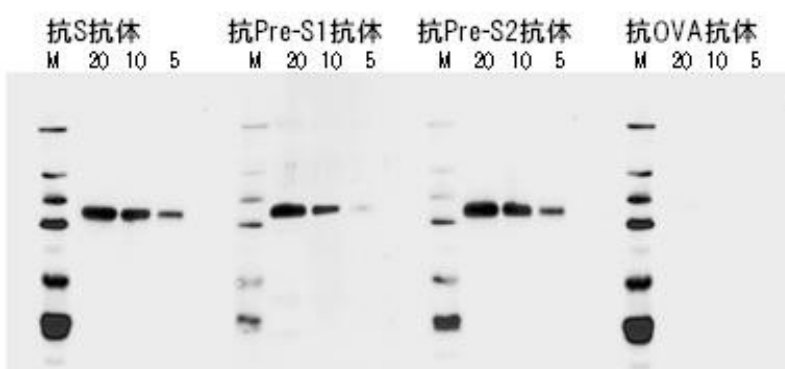
① チャンネル間での差異について



4枚の同時作製メンブレンを Auto Western Multiの4つのチャンネルで同じ設定条件で反応させた結果、殆ど同じ結果でした。

実験条件:
泳動ゲルプロット膜
(10~2.5ng/lane)
1・2次抗体反応:各60分
ECL試薬:ECL Prime

② 4種の抗体セットにおける反応について



同一抗原が転写されたメンブレンを Auto Western Multiの4つのチャンネルで各々異なる抗体セット(4種の抗体セット)で反応させた結果、独立した結果が得られた。
ネガティブコントロールとして使用した抗OVA抗体では反応が見られなかった。

実験条件:
泳動ゲルプロット膜
(20~5ng/lane)
1・2次抗体反応:各60分
ECL試薬:ECL Prime